



熊本地震で被災し、積み直し作業を終えた熊本城飯田丸五階櫓石垣の南面に、キラキラと輝く無数の光が見える時がある。何かに太陽の光が反射しているとみられ、まるで石垣がイルミネーションをまとっているようだ。輝く物体の正体は何なのか。熊本市熊本城総合事務所に尋ねた。



飯田丸五階櫓の石垣。南面に設置された受圧板に日光が当たると輝いて見える＝13日午前10時ごろ、熊本市中央区

飯田丸石垣に謎の輝き

飯田丸五階櫓は加藤家2代・忠広が治めていた1611〜24年ごろの創建とされ、2005年に築城400年を記念して復元された。熊本地震では石垣の南面と東面で計約500個が崩落。角石12個が柱のように残って櫓を支えていた姿から、「奇跡の一本石垣」と呼ばれて注目を集めた。2018年7月から石垣の解体復旧工事を進め、今年1月までに約1700個の積み直しを完了した。事務所にによると、キラキラと輝いているのは、石垣表面の築石を固定するための付けられた「受圧板」と呼ばれる装置。ステンレス製のボルト部分（直径4

正体は築石固定のボルト 最新補強「大地震に強い」

熊本地震

飯田丸五階櫓は復旧後、観光客らが入りやすくなることを想定しているため、より高い安全性の確保が求められる。今回の補強で熊

飯田丸五階櫓は復旧後、観光客らが入りやすくなることを想定しているため、より高い安全性の確保が求められる。今回の補強で熊

飯田丸五階櫓は復旧後、観光客らが入りやすくなることを想定しているため、より高い安全性の確保が求められる。今回の補強で熊

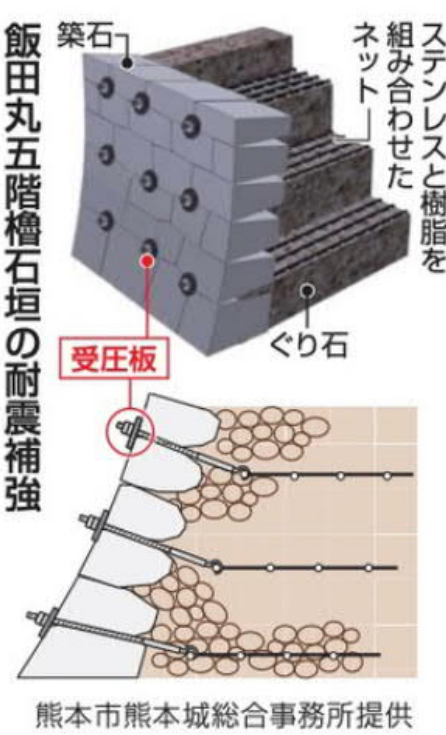
飯田丸五階櫓は復旧後、観光客らが入りやすくなることを想定しているため、より高い安全性の確保が求められる。今回の補強で熊

飯田丸五階櫓は復旧後、観光客らが入りやすくなることを想定しているため、より高い安全性の確保が求められる。今回の補強で熊

飯田丸五階櫓は復旧後、観光客らが入りやすくなることを想定しているため、より高い安全性の確保が求められる。今回の補強で熊

飯田丸五階櫓は復旧後、観光客らが入りやすくなることを想定しているため、より高い安全性の確保が求められる。今回の補強で熊

飯田丸五階櫓は復旧後、観光客らが入りやすくなることを想定しているため、より高い安全性の確保が求められる。今回の補強で熊



熊本市熊本城総合事務所提供

導入する。環境負荷の軽減一送(RKK)は、水素を燃

(米本充宏) という身勝手な目的で優陽